

平成25年度

広島県生涯学習研究実践交流会

<第二次案内>

趣旨

生涯学習・社会教育関係者が一堂に会して研究や実践を交流することで、生涯学習・社会教育を推進する上での資質を高めるとともに、連携・協働のプラットフォーム（幅広い機関・組織・団体等の乗り入れの場）として、生涯学習・社会教育関係者の広範なネットワークづくりを進めます。

主催

広島県教育委員会 日本生涯教育学会瀬戸内支部



日時

平成26年2月8日（土）

会場

広島経済大学立町キャンパス

13:00~17:00

広島市中区立町2-25

日程・プログラム

12:30	13:00	13:10	13:40	13:45	16:55
受付(3F)	開会行事	講演 協働とネットワーキングをどのように進めるか ～生涯学習実践の拡大と深化を目指して～ 講師 大分大学高等教育開発センター 准教授 岡田 正彦	会場移動	研究実践発表 第1分科会 家庭教育支援 第2分科会 青少年への支援 第3分科会 まちづくりへの支援 研究協議	閉会行事

終了 17:00

研究実践発表

県内・県外の生涯学習振興・社会教育関係職員や広島県立生涯学習センター職員等が、生涯学習・社会教育に関する研究や実践を発表します。（3つの会場に分かれて実施します。）

その後、分科会ごとにテーマを設定し、研究協議を行います。

コーディネーター

清國祐二（香川大学生涯学習教育研究センター長・教授）

山川尚美（広島修道大学 教授）

志々田まなみ（広島県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー・広島経済大学 准教授）

分科会	題目	発表者(所属)
第1分科会	家庭教育支援メール配信の実施に向けて ～保護者の役立つ情報を届けるために～	沖田 弘子（安芸高田市教育委員会）
	広がっています！ 子育ての「輪」 ～ 親学プログラム 大田市の取り組み ～	幸増 千世, 吉田 茂延（大田市教育委員会）
	乳幼児期における家庭教育支援の在り方について ～家庭における乳幼児のこたばの充実を中心に～	加藤 浩司（広島県教育委員会）

全ての親が安心して子育てや家庭教育を行うための支援が、教育施策の重点に掲げられる一方で、支援を届けたい親家庭にこそ、なかなかそれを届けることができないといった課題もよく耳にします。この分科会では、家庭教育支援の情報や学習機会の内容、また、その提供方法や形態に関する先進的な事例や調査結果について発表していただきます。

分科会	題目	発表者(所属)
第2分科会	子どもたちの～聞いてみよう・見つけよう・気づこう・語ろう～に学ぶ! 事業企画 “まなびっこ” アカデミー	小川 佳江 (福山市中部生涯学習センター)
	熊本県「地域の寺子屋」推進事業とそこでのボランティア活動を通じた大学生の学びと成長	天野 かおり, 藤本 桃子 (尚絅大学)
	すべては子ども達の笑顔のために ～おかやま子ども応援事業を通して～	東川 絵葉 (岡山県教育委員会)
<p>青少年の豊かな人間性や社会性を育むためには、多様な奉仕活動や体験活動の機会が重要であり、その拡充に向け、様々な人々と地域全体で取り組むことが課題となっています。この分科会では、社会教育施設職員、大学生、県行政職員というそれぞれの立場から、地域の青少年活動支援に取り組む事例とその課題について発表していただきます。</p>		
第3分科会	大竹市の伝統文化 ～手すき和紙について～	中本 篤子 (大竹市教育委員会)
	学習活動における変容について ～第3者の関わりと変容～	石川 哲郎 (広島市祇園西公民館)
	学び合いを通じた職員研修の在り方 ～「研修」「職場」「地域」による学びの連環を目指して～	松田 愛子 (広島県立生涯学習センター)
<p>まちづくり活動の支援は、生涯学習・社会教育の分野では比較的新しい課題であり、その分、実践の蓄積が浅い分野でもあります。この分科会では、このような新たな課題を、他部局・施設、地域団体、市民と連携・協力して進めていく計画づくりや、そのために必要な職員の専門的力量的の形成について発表していただきます。</p>		

会場案内



市内電車「立町」電停、市内バス「紙屋町」・「八丁堀」バス停、アストラムライン「県庁前」・「本通」下車
広島バスセンターから、徒歩5分

申込み方法

○申込み締切 **平成26年1月28日(火)**

○申込み方法 別紙様式により、お申し込みください。

○申込み・問合せ先 広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7番47号

電話 082-248-8848 ファクシミリ 082-248-8840

電子メール sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp